

どんまい便り

vol. 36

2020.June

理事長あいさつ P1

NPO 法人どんまい

令和元年度 事業報告・令和2年度 事業計画 P2

新 型
コ ロ ナ

感染症拡大防止の取り組み P3

特 別
寄 稿

この度の誹謗中傷記事について P4

まいん

退院された **I さん**にお話を伺いました P5
/ どんまい新人紹介

シェアハウスこだち

住みやすくなりました P6

法人ピア

新規サポーター紹介 P6

どんまいクラブ

施設外就労物語 ~マンション清掃編~ P7

あとりえ de まいんど 新商品情報 P8

ゆっくりクラブ

キッチンペーパーで手作りマスク P9

いんさつの咲々屋

施設外就労 (株)ヒカリ 除草&砂除去作業 P9

どんまいハウス

新入居者紹介・ハウスの感染症対策 P10

賛助会員募集・編集後記

この冊子は
オンデマンド印刷機で
印刷しております。
ご用命はこちらまで
いんさつの咲々屋
089-961-1991

理事長あいさつ

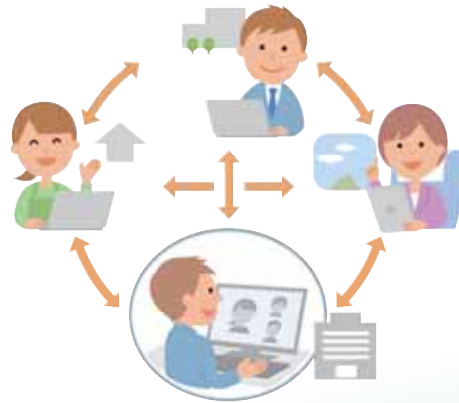
NPO法人 どんまい
理事長 谷本 圭吾

昨年の総会から早くも1年が過ぎます。現在の全世界に広まっている新型コロナウイルスは多くの人を犠牲にし、すべての人の生活自体を変えてしまいました。それもまだまだ収まる気配がありません。

法人においても感染を阻止するため、考えられるあらゆる努力をしております。職員、利用者とも日常業務に加え精神的にも肉体的にも大変なしんどさを胸にしまっただけで日々頑張ってくれています。

総会、イベント、会議など、すべて書面、オンラインに切り替えておりますので皆様にもご不便をおかけしますが、収束までとにもやり抜くしかありません。

来年の総会では大変だった1年を皆さんとともに振り返ることができますことを祈念しつつ、本年度もよろしく願いいたします。



令和2年7月

令和元年度 事業報告・令和2年度 事業計画

どんまいクラブ

どんまいクラブでは引き続き、作業の3本柱である施設外就労、オリジナル雑貨づくり、委託作業を行いました。迅速で丁寧な作業への取り組みが既存のお取引先だけでなく、各方面に認められ、一昨年に比べ工賃額を113%にUPすることができました。それぞれのモチベーションや意識が上がったこともあり、一般就労へ進まれた方も1名いらっしゃいます。

令和2年度も一人一人の思いに寄り添い、自分らしい生活に繋がられる支援力を向上させ、「明日も通いたい場所」となれる事業所を目指します。



ゆっくりクラブ

令和元年度のゆっくりクラブは、野菜がたっぷりの手作り弁当が好評で、口コミでの紹介やケータリング数が増えたことにより月平均の製造数が増加し、工賃向上につながりました。また、昨年度に引き続き1名の利用者が一般就労につながり、本人が相談できる場所の一つとして安定した就労が持続できるよう継続的にサポートしています。

今年度も、幅広いニーズに対応できるようきめ細やかな支援を行い、利用者の人生が豊かになるようサポートしていききたいと思います。



いんさつの咲々屋

咲々屋は7年目を迎えました。就労支援にチカラを入れながら取り組み続け、平成30年度から2年続けて一般就労に結びついています。就労面だけでなく、居場所として利用されている方の居場所にもなるよう利用者のニーズや想いを引き出す力を培って一人ひとりに沿った関わりをして『咲々屋を利用して良かった』と思ってもらえるような事業所にしていききたいと思います。



どんまいハウス

共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮せるようにサポートしてきました。また、松山市のワンステップ事業を活用した昼食体験や夕食体験、チャレンジ事業を活用した体験外泊等を行い、長期入院の方が4名入居しました。今年度も、一人でも多くの方が地域で自分らしく生活できるよう応援していきます。

シェアハウスこだち

シェアハウスこだちが開設されてから3年目を迎え、入居者は5名となり、入居者同士が協力し助け合い、意見を交わしながら生活を送られています。一人でも多くの方が安心して地域で生活を送れるよう関係機関の方と連携しながらサポートしていきます。

まいん

指定一般・特定相談支援事業所まいんでは今年度も計画相談においては引き続きの方が地域で自分らしく生活を送れるよう関係機関との連絡調整に努めます。地域移行については、一人でも多くの方が地域での生活を取り戻せるよう、退院を目指します。またそれに伴い、相談員のスキルアップと、インフォーマルな資源にも目を向け活用できるようにしていきたいと思っています。

まいさぼ

まいさぼでは、地域移行支援事業を利用し精神科病院を退院された方が、生活していくうえで起こる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう、訪問による相談や同行支援などを行ってきました。今年度も利用される方が自立した生活を営むことができるよう努めていきます。アセスメントに力を入れ本人のペースでできる力を伸ばしていけるような関わりを行います。

今年度もよろしくお祈いします





新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

コロナウイルス感染症拡大の防止に向け、NPO 法人どんまいでは法人をあげて様々な取り組みを行っています。

検温中...



利用者・職員とも、毎朝検温し、手洗い消毒・うがいを実践しています。

手洗いで



いろいろな人が触れるドアノブなど、施設の消毒を徹底しています。



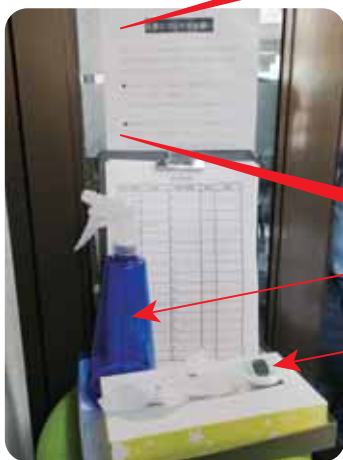
隣の人との距離を保って作業しています。



室内の換気をこまめに行っています。



職員の接触を減らすため事務所を分離し、会議はオンライン会議に切り替えています。



入室についてお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当事業所では基本的な感染症対策を実施するとともに、来訪者の皆様に対し、次の通りご協力をお願い申し上げます。

- 入室に際しましては、検温後に「来訪者検温表」へご記入の上、うがい、手洗いをお願いします。

消毒液

体温計

来訪者の方に検温、手指消毒をお願いします。



今までの自由な生活が一変し、いろいろな制約を受けて利用者さんも窮屈な日々を過ごしています。日々のストレスを職員がフォローしながら、法人の利用者の方々はもちろん、法人の職員一人ひとりが安心した時間が過ごせるよう、今後も法人一丸となってコロナ対策に取り組んでいきます。



この度の

誹謗中傷

記事について

今回、牧病院で集団感染が起こってしまいました。牧病院は知る限りいち早く感染対策を丁寧に着実に実行されていた病院だと思っています。それから長期入院されていた方々を地域に帰すことに取り組んでおられ、地域移行制度を利用し、当法人も受け入れを積極的に行い現在も数名の方がグループホーム入所、B型事業所通所の利用をしながら地域で生活を取り戻しておられることもあり、今回のことについて地域からのコメントが欲しいという愛媛新聞社の要請に應じました。そして院長会見記事の後半に私のコメントが載りました。

①当法人は牧病院から退院した方についても地域生活のサポートをしている。

②今回のことで精神障がい者に対する差別助長、風評被害が懸念され、感染者や家族、病院、事業者などへの攻撃はやめてほしい。

③今だからこそ、みんなで協力し合ってできることをやっていこう。

という3点でしたが、その日のうちにゆっくりクラブに誹謗中傷ビラが投かんされました。記事に反応してすぐの行動だったと思います。
自肅警察と呼ばれる輩が全国的に弱いものを攻撃する風潮が問題となっていることが現実的に私たちの身に降りかかることになりましたが、やっとな胸を張って地域で生きていけるようになった障がい者の方々がまた不安な気持ちにならないよう守るだけ考え、以後のマスコミ攻勢に対処してきました。しかしこれは絶対許されない行為であり、人を攻撃することで解決することでは決してないことを知ってもらいたいです。
その後は本当にたくさんの方から心配していただき、温かい激励の言葉、応援をいただきました。見ず知らずの車椅子の方がお手紙をわざわざ届けて下さったり、グループホームのある地域の町内会長さんがグループホームに訪ねて来てくれて、

愛媛

2020年(令和2年)5月17日 日曜日

精神障害者を誹謗中傷

松山の事業所にビラ

松山市の精神科病院で新型コロナウイルスの集団感染が起きている中、地域で暮らす精神障害者が通う市内の事業所に、障害者を誹謗(ひぼう)中傷し活動を自棄するよう求めるビラが張り付けられたことが16日、分かった。事業所を運営するNPO法人どんまい(松山市)の谷本圭吾理事長(63)は「集団感染が起きている病院を含め、精神障害者への誹謗中傷はやめてほしい」と呼び掛けている。

法人にまね、15日朝、市中心部にある事業所にビラが張り付けられているのを出勤した職員が見つけた。ビラには「この地域が世間様から非難されたり、卑下されるのはごめんです」「税金のムダづかいもヤメて下さい」などと赤い字で書かれ、松山市の病院での集団感染を挙げた上で事業所の活動自棄を求めている。

事業所には、精神障害者ら約35人が登録。毎日18人ほどが通所している。全員がマスクを着用し、手洗い、検温などの感染予防対策に努めている。時差出勤や在宅勤務も取り入れて3密回避にも取り組んでおり、今後も運営を続ける。

谷本理事長は、多くの地域住民に活動を理解してもらっていることと上で「弱い立場の人への中傷は非常に残念。新型コロナウイルスへの恐怖感、不安感にさいなまれながら生活する人がたくさんいる。みんなが苦しんでいる。みんなが苦しんでいる。みんなが苦しんでいる。」

「うちの地域からの事件かと心配で：私たちは地域で共に暮らしていかれることを望んでいます。こういうことをする人がいて申し訳ありません」と地域の立場として謝罪の言葉を頂いたりということもありました。障がい者が生きる姿を理解し、応援してくれている仲間がたくさんいるのだと改めて確信しました。本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち(障がい者を支援するスタッフも)は自分の存在に自信を持ち、自分の暮らしを大事にしていきます。そのことを理解して下さり、応援してくださる方とともに生きていける地域、人づくりを続けていきます。

理事長 谷本 圭吾

だからこそ協力し合う気持ちを持続させていこう」と話している。

差別問題に詳しい愛媛大法文学部の鈴木静教授(社会福祉法)は「障害のある通常以上に患者や障害のある人への権利保障の具

中傷のビラ張り付けは、言体的措置が求められる。そこを待たずにいこう」と話している。

法的にも社会的にも許されない姿勢を示し、社会の在り方を国民に示すことになり」と話している。(安藤勲)

5月17日付け
愛媛新聞より抜粋





地域移行支援事業を利用して 退院した I さんにお話を伺いました



I さん

Q 退院する前の気持ちはどうでしたか

A とても不安だった。
今は良かったと思う。



退院に向けて
ザボンで食器
を洗う練習を
していました。

Q 日中活動はどんな感じですか

A どこに行っても楽しい。
ひだまりに行って工賃を
稼げたことが嬉しかった。



不安な気持ちを
解消するため
に地域での
楽しみをみつ
けていました。



Q 退院して1番良かったことは何ですか

A ご飯が美味しいこと。



Q グループホームは I さんにとって
どんなところですか

A 安心できる場所。
スタッフも優しい。



相談員より

25年もの間入院されていた I さん。「退院したくない」と言われていた I さんが退院されてグループホームや日中活動先で楽しそうに生活されている姿を拝見すると、本当に良かったなと思います。I さんの「退院したくない」と言われた言葉の中にどれだけの不安や葛藤があったのかと思うと相談員としても胸が痛みました。この度、I さんの頑張りや病院の方、家族や関係機関の方々のご協力のもと、私自身も励まされつつ、退院に結び付けたことを嬉しく思います。I さん、おめでとうございます！これからも地域での生活を大いに楽しんでください。関係機関の方々もありがとうございました。



梅木 健士
(うめき けんじ)

ゆっくりクラブ

新人紹介 「NPO 法人どんまい」に 新しい仲間が入りました。

☆きっかけ☆

前職で就労継続支援 A 型事業所の支援員をしていて、そこが配食事業をやめてしまい、これまでの経験を少しでも生かしたいと思い、ゆっくりクラブを志望した。

☆趣味・特技☆

フットサル、ドライブ、音楽鑑賞

☆ひとこと☆

自分なりですが、精一杯がんばります。よろしくお願いします！





境界線工事により住みやすくなりました。

BEFORE



凹凸で危険！



互事前にみんなで草刈り！



AFTER



段差がない
歩きやすくなりました！

駐車場も
スッキリ！



スタッフの想い

こだちの東側のあぜ道、買い物に行くにはとても便利で人通りも多いのですが、段差もひどくでこぼこ道で危なかったのでもいつも心配していました。令和2年3月にフェンスを建て玄関周りの工事も行いました。北側の土地も高さを合わせ、車止めのロープも設置しましたのでご活用ください。入居者の方も住みやすくなったと喜ばれています。（冨永）

NPO法人 どんまい



法人ピアサポート 新規サポーター紹介

今年度から3名の新規サポーターさんが増えて総勢12名になりました。
今年度も12名の仲間と盛り上げていきましょう！



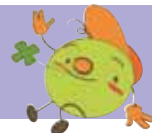
地域に貢献できるピアサポーターになりたいと思います！（梶原 文佳）



ピア活動を始めて、1年経っていないため分からないことが多いので、教えてもらいながら頑張りたいです。人の役に立つことが出来たらと思います。（K.K）

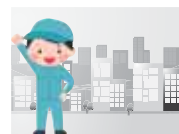


かつて私自身が、同じような悩みや苦しみを抱える仲間話を聞いてもらって救われたことがありました。だから私も同じ“当事者”の立場で誰かの役に立てれば、と考え参加を決めました。何を、どこまでできるが大変不届ですが、少しでも役に立てるように頑張ります。（佐々木 千晶）



施設外就労物語

～マンション清掃編～



どんまいクラブに通われて5年。作業の3本柱の一つでもある施設外就労の中でもマンション清掃に昨年7月から参加していただき、今では立派な戦力となられた飯尾さんに突撃インタビューしました♪

Q1 周りの人たちがマンション清掃に行っているのを見て、どう思っていましたか？

A1 自分には無理だなと思っていました。



Q3 マンション清掃に行ってみようと思ったきっかけは何ですか？

A3 職員さんから『行ってみない？』と声をかけられたことがきっかけです。それからいろいろ考えて、周りの人とも打ち解けられるようになってきたのでやってみようと思いました。

Q2 なんでそう思っていたんですか？

A2 もともと人付き合いに不安があったので、一緒に作業に行く人とうまくやっていけるかが一番心配でした。それ以外にも体力が続くのが、たばこが吸えるのが不安でした。

Q4 初めて参加したときの感想は？

A4 やっぱりしんどかった（笑）。みんなの大変さがわかりました。でもやり切った感じでした。



Q5 行き始めて何か変わったことはありますか？

A5 自信ができました。普段の生活でも人と話しやすくなった気がします。あと、たばこの本数がへって、健康的になりました



Q6 これからしていきたいことはありますか？

A6 互賃のことよりも施設外に行けるようになったことがうれしいです。これからも続けていきたいと思えます。

スタッフの思い

はじめは不安そうにされていた飯尾さんがマンション清掃だけでなく普段の作業でも責任感や自信をつけられているのを、間近で感じる事ができ、うれしく思っています。今後もあと一歩踏み出したい皆さんの背中を少し押すお手伝いができればと思っています。（山崎）



あとりえ de まいんど

新商品情報

マスク製作



新型コロナウイルスの影響でマスクが手に入りにくい中、洗って繰り返し使える布マスクを手作りしています。可愛いマスクを着けて少しでも気持ちが明るくなりますように…と願いを込めて作っています。

メンバーさんのコメント

マスクの大量注文に初めて挑戦しています。この時期なので、早くお届け出来るように努力しています。(S)

スタッフの思い

マスクの材料自体も入手困難な状況ですが、少しでも早くお手元にと出来た商品から順次納品させて頂いています。縫物を普段されていない利用者さんもチャレンジしたり、みんながそれぞれの形で力を合わせて頑張っています。(池)

フェルトバッグ



人気のフェルトバッグの新作が出来ました！！！！ 花のブローチ（取り外し可）が付いて可愛さアップ！ビビットカラーと使いやすいサイズ感にもこだわりました。スマホ、長財布、ポーチ、ペットボトルがしっかり入るデイリーバッグです。



このお花がワンポイント!!



使いやすい!!

マカロンベア



メンバーさんのコメント♥

「形や色がお菓子のマカロンみたい」と T さんが名付けました。一つ一つ心を込めて作っています。(S)



～キッチンペーパーで手作りマスク

も作りました!!!～



材料はキッチンペーパー、
両面テープ、アルミホイル
(ノーズワイヤー部分)
のみ

両面テープを両端に貼
り、折り返してとめて
いきます。



ひだを作って両面テー
プで止めていきます。



完成しました!!!

利用者さんの声

- ★今回初めてマスクを制作しましたが、とても楽しく作れました。家で自分でも作れそうだったので、家でも作ってみたいです。(T.Y)
- ★初めてマスクを作りました。両面テープを貼るのがちょっと難しかったです。(K.M)
- ★マスク作り、少し難しかったです。キッチンタオルで上手に出来て楽しく感じました。マスクが増えてよかったです。

スタッフの思い

メンバーさんより、マスクがないので作り方教室をしてほしい、と要望がありました。
ウィルスの影響で今年はお花見も出来ませんでした。みんなでマスク作りを行いました。
ほんのひと時ですが、みんなの真剣な表情やたくさんの笑顔を見ることができてホッとしました。(川本)

就労継続支援 B 型事業所 いんさつの咲々屋



第2回
4月分

施設外
就 労

(株)ヒカリ 除草 & 砂除去 作業

株式会社ヒカリ様の駐車場内除草作業と溝の砂の除去作業を行ってきました！
今回もどんまいクラブといんさつの咲々屋がタッグを組んで実施！！



細かい砂も
丁寧に…。



こっちはきれいに
なったよー！
そっちはどう？



Before



After

スタッフの思い

天気が良く、暑いぐらいの気候の中での溝清掃はかなり大変でしたが、皆で声を掛け合いながら協力して作業を進めることが出来ました。
外での作業・他事業所との共同作業を通じて得られた自信やこれからの目標を、今後の皆さんの支援につなげていきたいです。(清水陽)



新入居者インタビュー グループホームに新しい仲間が加わりました！

- Q1 入居してどのくらいになるのか
- Q2 グループホームでの生活で慣れない事
- Q3 グループホームでの生活で嬉しい事
- Q4 今楽しみにしている事
- Q5 してみたい事、今後の目標

- A1 3ヶ月にないです。
- A2 うまくいかなくて不安でした。体験を繰り返して行えて良かったです。
- A3 入院時にできなかったことができることです。特に自由に喫煙できることが嬉しいです。
- A4 自由時間にゲームをして過ごすことです。
- A5 貯金をして、Nintendo Switch を買いたいです。



ふじおか たけし
藤岡 健 さん



自転車を購入し、
行動範囲が
広がりました。



スタッフの思い



藤岡さんの退院に向け、多職種と連携することを常に意識し私にとっても良い経験となりました。自由な時間が増え、藤岡さんが望む生活を送られていると思います。

コロナウイルスの影響でまだレク等の行事が行えていませんが、この状況を皆で乗り切って楽しい思い出をこれから作っていきましょう！！ (井上)

どんまいハウスの感染症対策



どんまいハウスでは標準の感染予防策に加え、生活の場ならではの感染対策も行っています。

★食事時間をずらす事で、利用者同士の密集を避ける

★各居室の消毒、共有スペースの消毒

この他にも様々な観点から、感染予防策を検討し、入居されている方の健康を第一に支援にあたっています！

メンバーさんの思い【新型コロナウイルスの流行を受けて…】

- ★マスクや除菌シートが手に入りにくく、感染しないか心配です。(M.K)
- ★食事をみんなで食べられないので、寂しいです。(Y.O)



NPO 法人どんまい 賛助会員募集中！

いつも NPO 法人どんまいの活動へのご理解、ご協力を頂きまして心からお礼申し上げます。

皆様のおかげで、活動を無事に行っていくことができます。

ご協力いただける賛助会員を募集しておりますので、よろしくお願い致します。

ご賛同いただける方はメールかお電話でご連絡の上、下記の口座にご入金お願い致します。

ゆうちょ銀行

◆口座番号 01630-3-140194

◆口座名 NPO 法人どんまい

※他行からお振込みの場合
169店 当座 0140194

伊予銀行

松山駅前支店 普通 1922677

NPO 法人どんまい 理事長 谷本圭吾

個人会員=1口 5,000円

団体会員=1口 10,000円

個人情報の取り扱いについて

- ◆取材（画像など含む）、原稿依頼などにより取得した個人情報及び個人データは、「どんまい便り」への掲載のために使用します。
- ◆当広報誌は、個人情報に掲載されておりますので、複写・転載を禁じます。
- ◆個人情報の画像の取り扱いについては、各施設ごとに利用者を取り交わした書面の内容に基づいて取り扱っております。

サロン事業

当事者の方にゆっくり出来る場を提供するために、サロン事業として「さろんだそう」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在「さろんだそう」の活動は中止しています。

今後の予定につきましては、諸般の状況を踏まえて検討し、活動再開の際は改めてご案内いたします。



お会いできる日を
楽しみにして
おります

お問い合わせ先

NPO法人どんまい本町事務所 089-907-1541

編集後記

「どんまい便り第36号」いかがだったでしょうか？

今季は、新型コロナウイルスの流行に伴ってストレスや不安を抱えている方も多くいらっしゃると思います。法人内でも感染予防と対策をしっかりと行い、乗り越えていきたいと思っております。

今後ともNPO法人どんまい同様、「どんまい便り」もよろしくお願い致します。

編集担当者一同